

# 学校給食に関するアンケート調査結果について

## 実施方法等について

### 1. 目的

現在の学校給食について、ご理解をいただくとともに、食育の充実など、今後の取り組みの参考にするため、アンケート調査を実施しました。  
なお、アンケート結果については、PTAと市教委が情報を共有し、連携・協力体制を構築するとともに、それぞれの取り組みに活かすことにより、児童生徒の健全育成に資するものです。

### 2. 調査対象

- (1) 市内全校児童生徒：1,278名
- (2) 市内全校保護者：1,278名
- (3) 市内全校教職員：264名

### 3. 実施方法

#### (1) PTAとの協働事業

設問項目の作成

・PTA代表者と協議し、作成

配布・回収・集計

・児童生徒及び保護者分は、PTAが実施

・教職員分は、市教委が実施

#### (2) 実施手順

PTA会長、PTA執行部会、学校教育部会、会長・副会長会等と協議(8月)

校長会にて協力依頼(8月)

PTA代表者と設問項目、配布方法等を協議(8月～9月)

アンケート用紙配布(10月)

回収・集計・分析(12月～1月)

# アンケート集計結果について

## 1. 児童生徒(小学校901人、中学校377人回答)

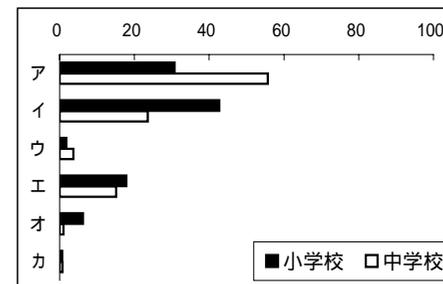
問1 毎日の食事で、大切だと思うことは何ですか。一番大切だと思うことを1つ選んでください。  
「カ その他」を選んだ人は、( )の中に書いてください。

- ア 1日3食規則正しく食べること
- イ 好き嫌いなく何でも食べること
- ウ 食べ過ぎないようにすること
- エ みんなと楽しく食べること
- オ 手洗いをすること
- カ その他

<カ その他の意見>

・健康を守るために、バランスよく食べる。・感謝の気持ちをもって食べる。・残さず食べる。

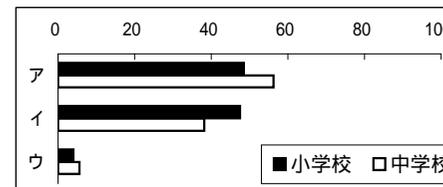
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	277	30.7	210	55.7
イ	385	42.7	89	23.6
ウ	16	1.8	14	3.7
エ	161	17.9	57	15.1
オ	56	6.2	4	1.1
カ	6	0.7	3	0.8



問2 問1で選んだことが実行できていますか、あてはまるものを1つ選んでください。

- ア いつもできている 問3に教えてください
- イ だいたいできている 問3に教えてください
- ウ できていない 問4に教えてください

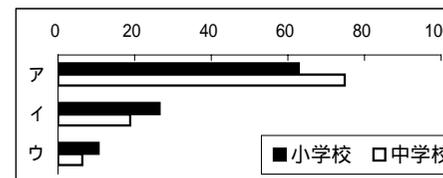
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	437	48.5	212	56.2
イ	428	47.5	144	38.2
ウ	36	4.0	21	5.6



問3 問2で「ア いつもできている」、「イ だいたいできている」を選んだ理由を1つ選んでください。

- ア 体にいいと思っているから
- イ 家族が教えてくれるから
- ウ 学校で教えてくれるから

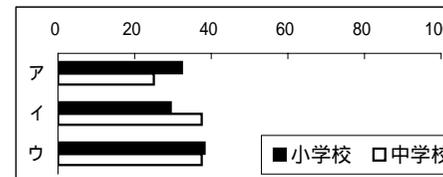
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	545	62.9	270	74.8
イ	230	26.5	68	18.8
ウ	92	10.6	23	6.4



問4 問2で「ウ できていない」を選んだ理由を1つ選んでください。

- ア 忘れるから
- イ めんどくさいから
- ウ 大切な理由がわからないから

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	11	32.4	4	25.0
イ	10	29.4	6	37.5
ウ	13	38.2	6	37.5



### 問1～4 食事に対する意識

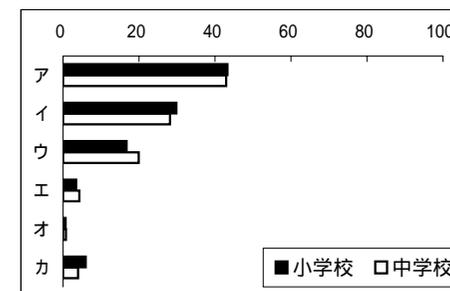
子どもたちは、「1日3食食べること」や「好き嫌いなく何でも食べること」など、食事の大切さを認識しており、ほとんどの子どもたちは「いつも」または「だいたい」実行できている。

しかし、「大切な理由がわからない」や「めんどうくさいから」という理由で、できていない子どもたちについて、正しい理解を深めていく必要がある。

### 問5 給食の時間帯はどうですか。1つ選んでください。

- ア ちょうどよい
- イ 5分くらい長くしてほしい
- ウ 10分くらい長くしてほしい
- エ 5分くらい短くしてほしい
- オ 10分くらい短くしてほしい
- カ わからない

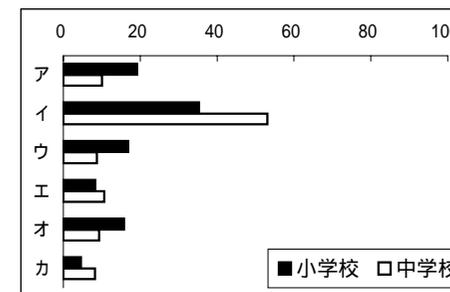
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	390	43.3	162	43.0
イ	269	29.9	106	28.1
ウ	151	16.8	75	19.9
エ	31	3.4	16	4.2
オ	6	0.7	3	0.8
カ	54	6.0	15	4.0



### 問6 松山市やその周辺でとれた地元の野菜などを給食で使うと、どんないいことがあると思いますか。1つ選んでください。

- ア おいしい
- イ 新鮮である
- ウ 体に良い
- エ 安全である
- オ 農家の方がよるこぼ
- カ わからない

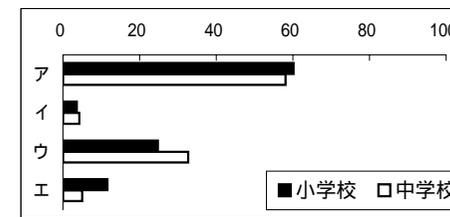
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	173	19.2	38	10.1
イ	318	35.3	200	53.1
ウ	152	16.9	33	8.8
エ	75	8.3	40	10.6
オ	142	15.8	35	9.3
カ	41	4.6	31	8.2



### 問7 給食で使っている食器をどう思いますか。1つ選んでください。

- ア 今のままでよい
- イ 持ちにくい
- ウ 熱くて持てない時がある
- エ 重くて運ぶのが大変

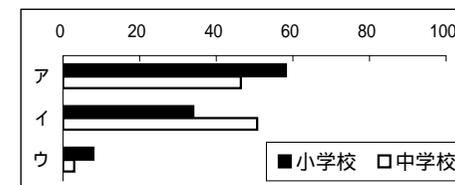
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	542	60.2	219	58.1
イ	32	3.6	16	4.2
ウ	223	24.8	123	32.6
エ	104	11.5	19	5.0



問8 ごはん給食の回数について、どう思いますか。1つ選んでください。

- ア いままでよい
- イ 増やしてほしい
- ウ 減らしてほしい

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	524	58.2	175	46.4
イ	306	34.0	191	50.7
ウ	71	7.9	11	2.9

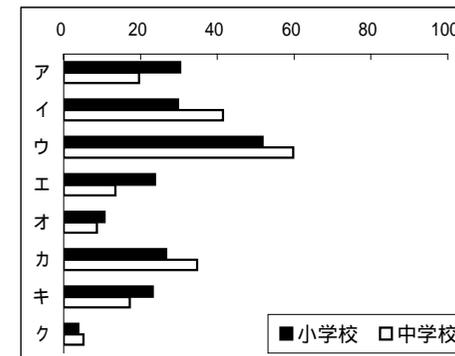


問9 給食でどんなことをしてほしいと思いますか。2つ選んでください。

「ク その他」を選んだ人は、( )の中に書いてください。

- ア 地元の野菜をたくさん使ってほしい
- イ おかずの種類を増やしてほしい
- ウ バイキング給食などのバラエティー給食を増やしてほしい
- エ 栄養のことなど体によい食事について教えてほしい
- オ 食器を変えてほしい
- カ 給食時間を長くしてほしい
- キ 今のままでよい
- ク その他

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	267	30.3	73	19.7
イ	262	29.8	154	41.5
ウ	456	51.8	222	59.8
エ	209	23.7	50	13.5
オ	94	10.7	32	8.6
カ	235	26.7	129	34.7
キ	204	23.2	64	17.2
ク	34	3.9	19	5.1



<ク その他の意見>

・パンに関する意見19件(種類を変えてほしい、回数を減らしてほしい、みかんパン等は普通のパンにしてほしい、ジャム等をつけてほしい) ・デザートに関する意見7件(果物やヨーグルトを増やしてほしい) ・米飯に関する意見6件(ご飯の日を多くしてほしい、まぜご飯を増やしてほしい) ・献立に関する意見6件(外国の料理等珍しい物を取り入れてほしい) ・飲み物に関する意見3件(牛乳以外の物も取り入れてほしい) ・量に関する意見3件(少なくしてほしい) ・味に関する意見2件(おいしくしてほしい) ・その他意見(嫌いな物は全部食べなくてもいいようにしてほしい、マナー教室があればよい、アレルギー給食に力を入れてほしい、ふりかけを持参できるようにしてほしい、とにかく楽しく)

### 問5～9 給食に関して

給食の時間については「ちょうどよい」と「長くしてほしい」がほぼ同数である一方、「短くしてほしい」という意見もあった。

給食の食器やご飯の回数は、過半数の子どもたちが、「今のままでよい」としているが、食器が「熱くて持てない」、「重い」といった意見や、回数を「増やしてほしい」といった意見もあった。

給食への要望では、「今のままでよい」との意見も一定数あるが、献立や食材に関する意見が多く、給食時間の延長や食器の変更についての意見もあった。

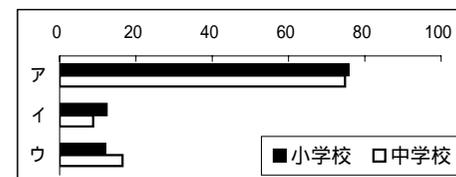
そこで、こうした様々な意見・要望について、その反映に努めていく必要がある。

## 2. 保護者(小学校901人、中学校377人回答)

問1 食育(食に関する教育)とは、自分の健康を守り、豊かな食生活ができる力を育てることです。学校給食では、成長期にある子どもたちに給食を通じた食育を行っています。また、家庭での食事や食育の役割も大きいものと思われませんが、子どもたちへの食育をどのように行うことが、最も望ましいと思われませんか。1つ選んでください。

- ア 家庭が主体となり、学校や行政と連携して実施する
- イ 学校が主体となり、家庭や行政と連携して実施する
- ウ 行政が主体となり、家庭や学校と連携して実施する

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	682	75.7	282	74.8
イ	111	12.3	33	8.8
ウ	108	12.0	62	16.4

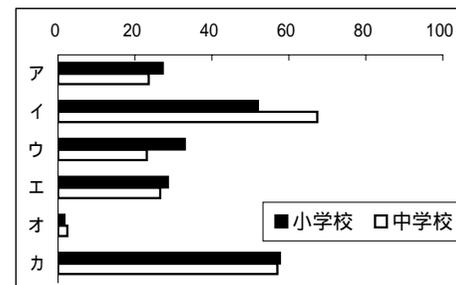


問2 子どもたちへの食育を充実するために、ご家庭で力を入れていることや学校、行政への要望について、以下の問いにお答えください。

(1) 家庭で、実践している項目について、力を入れていることを2つ選んでください。

- ア 子どもと買い物をしたり、食べ物の話をするなど、食への関心を持たせる
- イ 1日3食規則正しく、バランスの良い食事の仕方を身に付ける
- ウ 手洗いや正しい食事のマナーを身に付ける
- エ 子どもと料理したり、準備や後片付けをする
- オ 郷土料理や外国の料理など食文化を理解する
- カ 食べ物を粗末にしないようにする

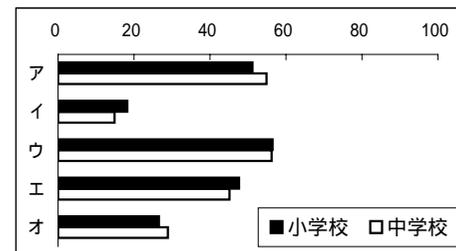
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	245	27.2	89	23.6
イ	468	51.9	254	67.4
ウ	297	33.0	87	23.1
エ	257	28.5	100	26.5
オ	15	1.7	9	2.4
カ	520	57.7	215	57.0



(2) 学校給食を通じた食育で、力を入れてほしいことを2つ選んでください。

- ア バランスの良い食事の仕方を身に付けさせてほしい
- イ 手洗いや正しい食事のマナーを身に付けさせてほしい
- ウ 自然の恵みや勤労への感謝の気持ちを育ててほしい
- エ 食事の準備や後片付けなどを通して、奉仕や協力、協調の精神を養ってほしい
- オ 食文化や食糧の生産・流通・消費についての理解を深めさせてほしい

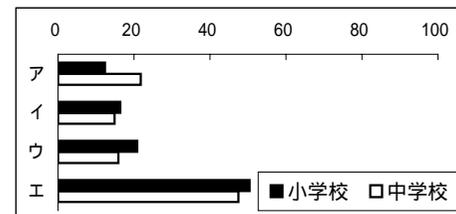
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	461	51.2	207	54.9
イ	164	18.2	56	14.9
ウ	509	56.5	212	56.2
エ	429	47.6	170	45.1
オ	239	26.5	109	28.9



(3) 行政から提供される情報や体験の場として、最も必要と思われるものを1つ選んでください。

- ア 食に関する勉強会
- イ 親子で使える食育に関する情報(教本、ビデオなど)
- ウ 調理場の見学会
- エ 農業体験

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	111	12.3	82	21.8
イ	148	16.4	56	14.9
ウ	188	20.9	60	15.9
エ	454	50.4	179	47.5



### 問1～2 食育に関して

70%を超える方が、食育の主体は家庭だと考えている。また、家庭では「3食、バランス良く」、「食べ物を粗末にしない」、「正しいマナー」、「準備や後片付け」等に力を入れているが、「食文化の理解」については、非常に少なかった。

また、学校給食を通じた食育への要望では、「自然の恵みや勤労への感謝」、「バランスの良い食事の仕方」、「食事の準備や後片付け」が多く、「食文化等への理解」、「正しいマナー」への要望が続いている。

家庭で力を入れていることと、学校で力を入れてほしいことを比較すると、ほぼ同様の傾向が見られるが、「準備や後片付け」、「食文化等への理解」は、学校に期待している傾向がある。

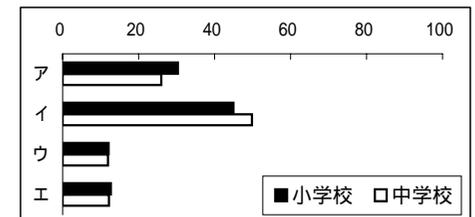
また、行政に対しては、農業体験がほぼ半数を占めるなど、情報提供の充実だけでなく、子供たち自らの体験型学習を望む声が多い。

### 問3 給食の献立について、以下の問いにお答えください。

(1) 各家庭に配布している献立表をご覧になってどう思いますか、1つ選んでください。

- ア 豊かな献立で良いと思う
- イ エネルギーや栄養面の配慮がされていて良いと思う
- ウ メニューの組み合わせ方に違和感を覚えることがある
- エ 献立名で料理のイメージがわからないことがある

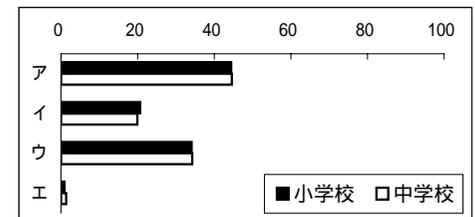
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	273	30.3	98	26.0
イ	405	45.0	188	49.9
ウ	109	12.1	45	11.9
エ	114	12.7	46	12.2



(2) 献立を作る時に優先してほしいことは何ですか、1つ選んでください。

- ア 季節感を感じるようにしてほしい
- イ 同じ食材を使った料理や似たような料理が続かないようにしてほしい
- ウ 必要な栄養価やエネルギーを優先してほしい
- エ 栄養価等の優先より子どもの嗜好に合わせてほしい

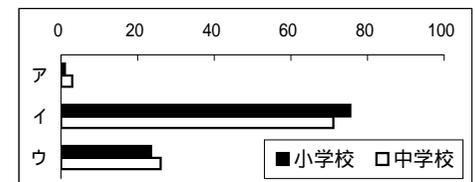
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	400	44.4	168	44.6
イ	186	20.6	75	19.9
ウ	307	34.1	129	34.2
エ	8	0.9	5	1.3



問4 給食時間での指導について、望ましいものを1つ選んでください。

- ア 好きな物だけ食べさせる(子どもに任せる)
- イ 嫌いな物も少しは食べさせる
- ウ 必ず残さず食べさせる

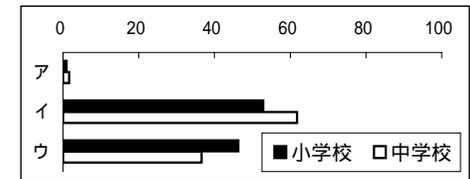
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	9	1.0	11	2.9
イ	680	75.5	268	71.1
ウ	212	23.5	98	26.0



問5 食事をする時の様(マナー)について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ア 子どもに任せてほしい
- イ 少しは注意してほしい
- ウ 厳しく注意してほしい

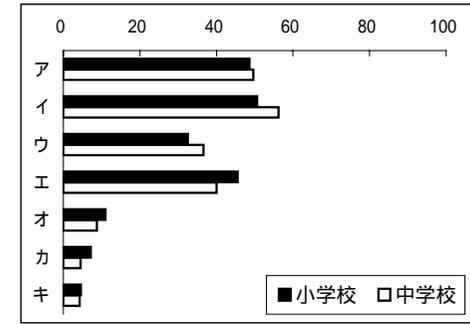
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	8	0.9	6	1.6
イ	476	52.8	233	61.8
ウ	417	46.3	138	36.6



問6 今後の松山市の給食の取り組みで、力を入れてほしい項目を2つ選んでください。  
「キ その他」を選んだ場合は、( )内に具体的に記入してください。

- ア 地産地消の推進
- イ 衛生管理面での施設・設備の整備
- ウ 献立の多様化
- エ 食育の充実
- オ 食器の改善
- カ 学校栄養職員等による児童生徒への個別指導の充実
- キ その他

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	438	48.6	187	49.6
イ	456	50.6	212	56.2
ウ	293	32.5	138	36.6
エ	410	45.5	151	40.1
オ	99	11.0	33	8.8
カ	65	7.2	17	4.5
キ	41	4.6	16	4.2



<キ その他の意見>

・食の安全に関する意見17件(安全な食品を使ってほしい、農薬をあまり使っていない野菜等を使ってほしい、お肉も国産(県内牛)にしてほしい、加工品はなるべく使わないようにしてほしい、遺伝子組み換えなど不安な食物は使わないでほしい、調理における衛生管理を徹底してほしい)・食物アレルギーに関する意見10件(食物アレルギーへの対応を更に進めてほしい、ごま和えをやめて別の味付けで個別に対応してほしい、牛乳の代替品を提供してほしい)・献立に関する意見8件(おやつにパンを出すのでごはんの日を増やしてほしい、パンのときにバター等をつけてほしい、果物を増やしてほしい、咀嚼の回数が増えるような献立にしてほしい、嫌いな食べ物でも楽しく美味しく食べられるよう工夫してほしい、衛生面で献立に出せない食品や調理法があれば紹介してほしい)・栄養士等に関する意見4件(学校栄養職員が子どもたちの声をしっかり聞いてほしい、調理員や栄養士の意識や技術の向上、栄養学だけに偏らない栄養士の育成、子どもたちへ愛情を込めて調理する)・自校式に関する意見4件(できれば自校式の給食施設を望む、自校式の給食の良さを理解してほしい)・食指導に関する意見3件(もったいないや食物の大切さを感じさせてほしい、噛むという事の大切さを教えてほしい)・味に関する意見2件(病院食のようなまずい味の改善、栄養バランスも大切であるが味覚も大切である)・その他意見(子どもが給食を食べる時間がなかったので残したと聞くことがある、規格外の地元野菜を安く購入すれば新鮮である、何よりも楽しくおいしく食べるのが食事の原点である、ごはんが冷めて硬そうなので温かい物を食べられるように工夫してほしい、特になし)

問3～6 給食に関して

献立に関しては、「栄養面の配慮」、「豊かな献立」など、肯定的な意見が多いが、献立の工夫を求める意見もあり、「季節感」、「栄養価」、「献立の多様化」への要望が強い。

また、給食時間の指導については、「嫌いなものも食べさせる」、「注意してほしい」との意見が多く、「子供たちに任せる」意見は、非常に少なかった。

行政に対する要望は、「衛生管理の強化」、「地産地消の推進」、「食育の充実」、「献立の多様化」等が半数前後と要望が多く、松山市の現在の取り組みの方向性と一致している。

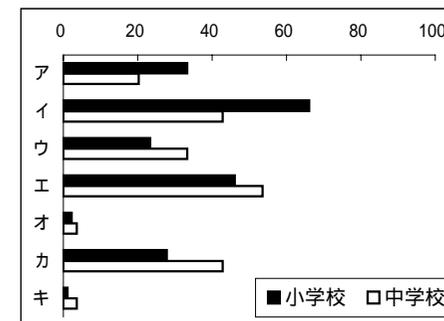
また、その他の意見として、「食の安全」、「食物アレルギー」等、多様な意見があり、今後の検討課題といえる。

### 3. 教職員(小学校180人、中学校84人回答)

問1 学校給食を通じて身に付けさせたいことで、重要と思われるものを2つ選んでください。

- ア 食への関心を持たせる
- イ バランスの良い食事の仕方を身に付けさせる
- ウ 手洗いや正しい食事のマナーを身に付けさせる
- エ 食事の準備や後片付け等を通して奉仕や協力、協調の精神、社会性を養う
- オ 郷土料理や外国の料理など食文化を理解させる
- カ 自然の恵みや勤労への感謝の気持ちを育む
- キ 食糧の生産・流通・消費について理解させる

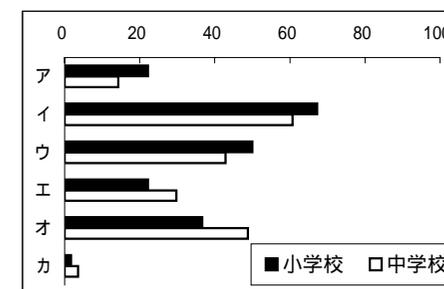
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	60	33.3	17	20.2
イ	119	66.1	36	42.9
ウ	42	23.3	28	33.3
エ	83	46.1	45	53.6
オ	4	2.2	3	3.6
カ	50	27.8	36	42.9
キ	2	1.1	3	3.6



問2 食育(食に関する教育)の充実において、家庭の役割として、期待するものを2つ選んでください。

- ア 食への関心を持たせてほしい
- イ バランスの良い食事の仕方を身に付けさせてほしい
- ウ 手洗いや正しい食事のマナーを身に付けさせてほしい
- エ 自然の恵みや勤労への感謝の気持ちを育ててほしい
- オ 食事の準備や後片付けなど、お手伝いをさせてほしい
- カ 食文化や食糧の生産・流通・消費について理解させてほしい

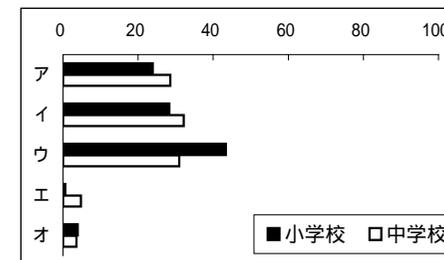
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	40	22.2	12	14.3
イ	121	67.2	51	60.7
ウ	90	50.0	36	42.9
エ	40	22.2	25	29.8
オ	66	36.7	41	48.8
カ	3	1.7	3	3.6



問3 学校において、食育を実施するには、どのような機会を利用すればよいですか。最も教育効果が上がるとと思われるものを1つ選んでください。「オ その他」を選んだ場合は、( )内に具体的に記入してください。

- ア 関連教科などの授業
  - イ 学級活動
  - ウ 給食時間
  - エ 個別指導
  - オ その他
- <オ その他の意見>

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	43	23.9	24	28.6
イ	51	28.3	27	32.1
ウ	78	43.3	26	31.0
エ	1	0.6	4	4.8
オ	7	3.9	3	3.6



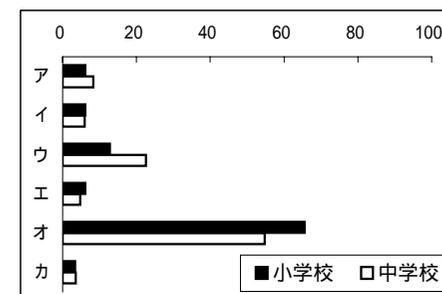
・全教育課程や全教育活動で計画的に取り組む ・授業、集会、給食等で系統性を持たせて指導する ・総合的な学習で地域の特産物等の生産に取り組み、調理、消費やゴミ処理まで地域の人の協力も得て行う ・調理員や栄養士に食育の話をしてもらったり交流したりする活動や指導が良い ・機会を限定せず教科、学級活動等それぞれに適した内容により教育効果は上がる

問4 児童生徒に対し、効果的に食育を実施するためには、どうすればよいでしょうか。最も必要と思われるものを1つ選んでください。

「カ その他」を選んだ場合は、( )内に具体的に記入してください。

- ア 既存の教材を積極的に活用する
- イ 独自に教材を作成するなどし、活用する
- ウ 給食だよりなど、食に関する情報をこれまで以上に充実し家庭に提供する
- エ 学校栄養職員(栄養教諭)が、献立や食品の情報を学級担任や保護者に提供する
- オ 学校栄養職員(栄養教諭)が、給食時間や教科等に参加し、直接児童生徒に食に関する指導を行う
- カ その他

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	11	6.1	7	8.3
イ	11	6.1	5	6.0
ウ	23	12.8	19	22.6
エ	11	6.1	4	4.8
オ	118	65.6	46	54.8
カ	6	3.3	3	3.6



<カ その他の意見>

・年間計画を作成し発達段階に応じた学習の積み重ねをする ・教材の工夫と栄養職員との連携を図り食に関する指導を充実する ・エとオの組み合わせで親子同時に食育を受ける機会があればよい ・栄養職員と学担による指導 ・食べなくなる給食にする

#### 問1～4 食育に関して

子供たちに身に付けさせたいこととして、学校・家庭ともに「バランスの良い食事」が最も多く、続いて、学校では「準備や後片付け」の重要性が、家庭では「食事のマナー」、「準備や後片付け」に対する期待が多い。

また、学校・家庭ともに「バランスの良い食事」、「準備や後片付け」が多いことから、学校と家庭の連携・協力による指導の必要性が汲み取れる。

学校の食育は、「給食の時間」とともに、「学級活動」、「関連教科」を利用する意見が多く、その他の意見でも様々な機会を利用するとの意見がある。

これは、給食の時間を中心として、多様な形で食育の充実が求められているといえる。

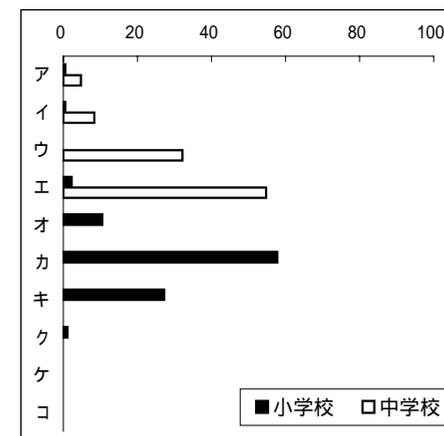
また、食育を効果的に実施するためには、「栄養職員（栄養教諭）の参画」が必要との意見が過半数を超え、栄養職員（栄養教諭）への期待が高いことが伺える。

**問5 貴校の給食時間は何分ですか。また、望ましい時間はどの位だと思われませんか、それぞれ1つ選んでください。**

<現在の時間>

- ア 20分
- イ 25分
- ウ 30分
- エ 35分
- オ 40分
- カ 45分
- キ 50分
- ク 55分
- ケ 60分
- コ 60分以上

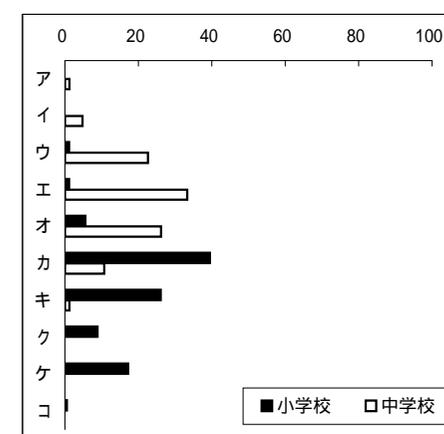
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	1	0.6	4	4.8
イ	1	0.6	7	8.3
ウ	0	0.0	27	32.1
エ	4	2.2	46	54.8
オ	19	10.6	0	0.0
カ	104	57.8	0	0.0
キ	49	27.2	0	0.0
ク	2	1.1	0	0.0
ケ	0	0.0	0	0.0
コ	0	0.0	0	0.0



<望ましい時間>

- ア 20分
- イ 25分
- ウ 30分
- エ 35分
- オ 40分
- カ 45分
- キ 50分
- ク 55分
- ケ 60分
- コ 60分以上

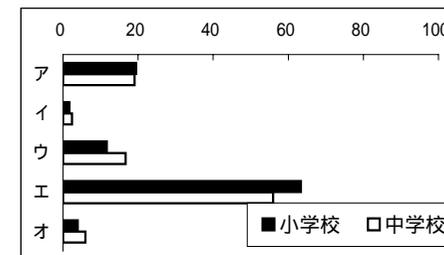
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	0	0.0	1	1.2
イ	0	0.0	4	4.8
ウ	2	1.1	19	22.6
エ	2	1.1	28	33.3
オ	10	5.6	22	26.2
カ	71	39.4	9	10.7
キ	47	26.1	1	1.2
ク	16	8.9	0	0.0
ケ	31	17.2	0	0.0
コ	1	0.6	0	0.0



**問6 現在の給食食器を、今後、買い替える時に最も配慮すべきことは何ですか、1つ選んでください。**

- ア 子どもたちが運びやすい軽くて丈夫なもの
- イ 重くても、食事にふさわしいもの
- ウ 持っても熱くないもの
- エ 環境ホルモン等健康への害のないもの
- オ 現状でよい

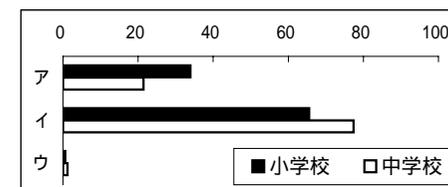
	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	35	19.4	16	19.0
イ	3	1.7	2	2.4
ウ	21	11.7	14	16.7
エ	114	63.3	47	56.0
オ	7	3.9	5	6.0



問7 米飯給食の実施回数について、児童生徒に最も望ましいと思われるものを1つ選んでください。

- ア 現状のままでよい(2.5回/週)
- イ 増やすべきである(3回/週以上)
- ウ 減らすべきである

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	61	33.9	18	21.4
イ	118	65.6	65	77.4
ウ	1	0.6	1	1.2



### 問5～7 給食に関して

給食時間は、現在の時間と望ましい時間がほぼ同一であるが、もう少し長いほうが良いとする傾向が見られる。

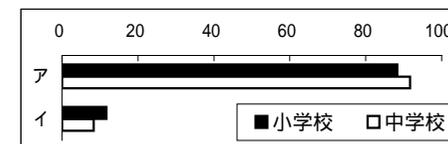
また、食器は安全性が最優先とされ、続いて、「軽い・熱くないもの」が求められているが、少数ながら「現状のまま」、「重くても食事にふさわしいもの」という意見もあった。

米飯給食は、半数以上が「増やすべきである」との意見であり、児童・生徒のほぼ半数が「いまのままでよい」とする意見と、少し相違が見られる。

問8 市民ニーズから見ても、給食における食物アレルギーへの対応を充実する必要があると考えていますが、家庭・学校・医師等の連携は欠かせません。そこで、あてはまるものを1つ選んでください。

- ア できることには、対応していきたい
- イ アナフィラキシー等の問題もあり、給食での対応は適当ではないと思う

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	159	88.3	77	91.7
イ	21	11.7	7	8.3

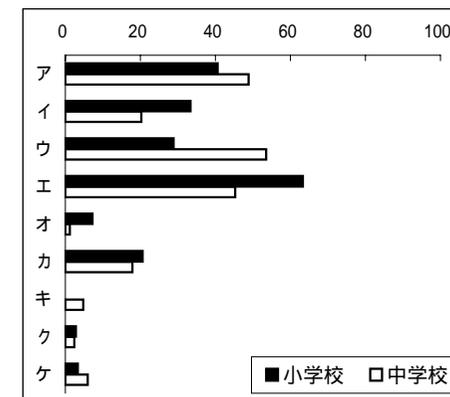


問9 今後の給食における取り組みで、力を入れるべきと思われるものを2つ選んでください。

「ケ その他」を選んだ場合は、( )内に具体的に記入してください。

- ア 地産地消の推進
- イ 衛生管理面での施設・設備の整備
- ウ 献立の多様化
- エ 食育の充実
- オ 食物アレルギー対応の充実
- カ 学校栄養職員等による児童生徒への個別指導の充実
- キ 給食時間の延長
- ク 地域の人や調理員等学校給食関係者との交流給食の充実
- ケ その他

	小学校		中学校	
	合計(人)	割合(%)	合計(人)	割合(%)
ア	73	40.6	41	48.8
イ	60	33.3	17	20.2
ウ	52	28.9	45	53.6
エ	114	63.3	38	45.2
オ	13	7.2	1	1.2
カ	37	20.6	15	17.9
キ	0	0.0	4	4.8
ク	5	2.8	2	2.4
ケ	6	3.3	5	6.0



<ケ その他の意見>

・献立に関する意見(カロリー等だけで普通ではありえないようなメニュー作りはやめてほしい、組み合わせ方や味付け調理の仕方にも少し改善の余地がある、生徒が食べやすい味やメニューの研究、給食こそ高くても良いから無農薬無添加の物を用意すべきではないか) ・その他意見(保護者への食に関する学習会、受け室の安全で給食関係の方の配置への配慮、給食委員会の児童・生徒が毎日片付けを手伝わなくてよいようなシステムの考慮)

### 問8～9 アレルギー対応・今後の取り組みに関して

アレルギー対応は、「できることには、対応していきたい」との意見がほとんどだが、生命に関わる問題からか、「給食での対応は適当ではない」との意見もあった。

今後の取り組みについては、「食育の充実」、「地産地消の推進」、「献立の多様化」、「衛生管理の充実」といった項目に対する意見が多く、「児童生徒への個別指導」など、きめ細やかな対応への意見も見られた。